

SABOK 活動拡大中！

2012年度のSABOKは、情報展開を重要な活動としています。まずは、4月21日の関東支部定例会にて説明。当日はUSTREAM中継あり。皆さんのSABOKに対する意識や想いを肌で感じることができました。そして、会場外からのご意見にUSTREAMで回答。リアルな会議とバーチャルな会議のコラボレーションで双方向の意思疎通が実現できたのもうれしい。

そして、5月9日のビジネスプロセス・アーキテクト協会(BPA-P)様研究会参加。JISTAのSABOKとBPA-Pの顧客対価アプローチの説明を問題提起として、双方のコラボレーションを探りました。これが実に面白い。一体、双方にはどのような補完関係があるのか？SABOKのポジションを明確にするために必要な命題でしょう。

これからもSABOKは、内外への情報発信をしていきます。ぜひご注目、ご参加を！
(SABOK研究会より)

A Guide to the
Strategy and Analysis
Body of Knowledge

書評の格闘技?! ビブリオバトル

北海道支部4月定例会では会員によるビブリオバトルを開催しました。

ビブリオバトルとは「自分の好きな本を紹介しあう」という一種のプレゼン会です(公式ルール<http://www.bibliobattle.jp/>)。主なルールは「持ち時間は5分」「プロジェクタは使わない」「優勝者を決める」といったもので、「人を通して本を知る、本を通して人を知る」(公式サイトより)という理念があります。今回、北海道支部では6名の参加者がそれぞれの本を紹介しあいました。

ジャンルは小説から業界紙まで各自バラバラでしたが、「ハイウェイ惑星」「北海道発 農力最前線～日本人の食を支えるのは誰か」の同着優勝でした。

ビブリオバトルは、プレゼンの練習はもとより、本を通じて人を知る、またその人を通じて本を知る、という、世界が広がるきっかけとなる良質の体験が出来るので、機会があればまた開催したいと思います。
(北海道支部より)



【スタッフメッセージ】

会員アンケートでは、JISTA参加で実現したいこととして ①情報収集 ②人材交流・懇親 が80% 超えとなる一方、実際の活動はMLを読むのみ、が3分の2でした。

交流はもちろん、情報収集も双方向意見交換がより深みが増します。支部活動の活性化とともにSNSなど地理に縛られず敷居の低い交流の場を提供していきたいと思っております。



副会長・山本